

川崎工業株式会社

静岡県菊川市/輸送用機械器具製造業
<https://www.kawasaki-ind.co.jp/>

事業概要

川崎工業は1940年にオリジナル商品のジャッキを開発し、その歩みをスタートしました。現在は自動車部品メーカーとしてアルミ部品と自動車用のジャッキ生産を行っています。開発から製造までの一貫生産体制を基盤として企業システムを構築し、今も新たな挑戦を続けています。



本事業では、製造にかかせないアルミの溶解に用いる低炭素工業炉を更新しました。省エネ診断にて更新前のエネルギー使用量を把握し、設備更新による省エネに繋げることができました。

事業者メッセージ

2021年に社内カーボンニュートラルを推進する委員会を立ち上げCO₂低減に取り組んでいます。当社はアルミ溶解保持炉を数十基保有しており、本補助金を活用し、うち3基を省エネタイプの工業炉に更新しました。その結果、更新した設備は40%超の省エネとなり、CO₂は年間245tの削減となりました。また、最新設備に更新することで生産性の向上もはかることができました。今後も計画的に省エネ設備への更新を推進してまいります。

省エネ効果

エネルギー使用量

289.9(kl/年)

省エネルギー量

127.3 (kl/年)

削減コスト

937(万円/年)

補助対象設備の省エネルギー率

43.9 %

CO₂削減効果

244.5(t-CO₂/年)

※ 削減コストは、ガス利用額：1㎡当たり85.5円を乗じた値

令和4年度事業

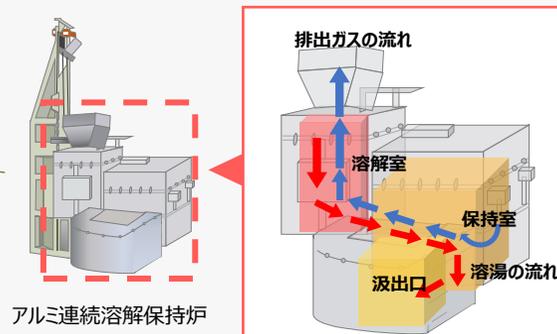
補助対象経費 **2,598**万円
 補助金 **930**万円

省エネのPOINT

■ アルミニウム製品 一般製造過程



■ システム図



アルミ連続溶解保持炉

- ✓ 省エネ最適化診断※を受けた結果を踏まえ、設備の導入を検討。
※省エネ最適化診断：一般社団法人省エネルギーセンター実施 (<https://www.shindan-net.jp/>)
- ✓ 大幅な溶解能力の向上により、効率的な製造ラインを確立。コスト削減や生産性向上を実現。

導入設備



低炭素工業炉

種別	炉効率	単位生産量	台数
燃焼式	49%	0.25 t/h	1台
	36.9%	0.25 t/h	1台
	37.9%	0.35 t/h	1台

